

ベイ★キッズ

横浜子育て応援マガジン

ベイ★キッズ

FREE
2024 SPRING
vol. 052

新しいことはじめてたい!

- 02 | 教育や保育の現場では? 横浜トリエンナーレに行ってみよう
- 03 | まちすき やまびこリーグ事務局長 大石 大さん 身近でできるSDGs 横浜ビー・コルセアーズ 会いにきてね! キリン パバと遊ぼう 春のチャレンジ編
- 04 | こどもと一緒に楽しもう スポーツセンターの子ども向け教室 こども送迎サービス

Credit
 スタッフ: 東恵子、船本由佳、本田真弓
 ベイ★キッズ みなとくらす
 デザイン: 川本智子
 協力: あそびい横浜、公益財団法人 横浜市緑の協会 シュフレ協会

写真: 菅原康太



● 編集・発行/ベイ★キッズ編集部 [NPO法人シャーロックホームズ] 〒220-0002 横浜市西区南郷井沢18-1-110 TEL.045-324-5033 FAX. 045-548-4514
<http://baykids.jp> info2@baykids.jp * 情報提供や広告掲載に関するお問い合わせは上記まで。 * 紙面の無断転載を禁じます。

テストで測れる知識や技能ではなく、忍耐力・主体性・協調性など、生き抜くために必要な力は教えて分かるものではありません。ベイ★キッズでは習い事も子どもが生き抜く力が育まれる大切な居場所と考えています。習い事を主宰する「理科クラブ」と「アンイースタジオ」に聞きました。

それぞれの教室の特徴を教えてください

理科クラブ 西沢久美子さん(以下西沢)

教育課程や将来役に立つかではなく、私が子どもに伝えたいことを元にかリキュラムを組んでいます。「色が変わる!」「分解してみたら、仕組みがわかる!」「サメの口の中には歯がいっぱい、なにこれ」と世の中は面白いことにあふれています。私の今のブームは動物の頭の骨です!馬や猫、ダチョウなどの鳥とか…。また、本や動画を鶏呑みにするのではなく、まず疑おう、自分でやってみて、自分の頭で考えなさいと伝えていて、自分の判断基準を持つ過程を大事にしています。



アンイースタジオ スティーブ・チャールズ・デイさん・霜田りえこさん(以下アンイー)

STEAM(Science・Technology・Engineering・Art・Math)の5つについて英語で教えています。アートが入っていることが特徴ですね。最初は「こんなできない」と思っても、一緒に取り組むとできていく。一つ一つの積み重ねを経て「できた!もっとやりたい!」と自分で思うようになる、その道筋が大事です。まずは「自分で考える力をつける」ことが、私たちが大事にしていることです。



「子どもが自分で考える」がキーワードのようです。そもそも教室を開くきっかけは何だったのですか?

西沢 私はもともと化学が専門で研究所で働いていました。出産し、自分の子どものために習い事を探した時おもしろい理科実験教室がなくて。ちょうど小一の壁に当たって研究所で働くのに限界を覚えていた時に、紫キャベツの汁の色が変わるとかポップコーンを作って水蒸気爆発の体験をするとか台所で自分の子どもと行っていた遊びを、子どもの友達にも体験してもらったことがきっかけでした。

アンイー 日本のアートの教え方に違和感を覚えていて、私たちのやり方でやってみたかったのです。多くのアートの教育現場では例えば空の色は青く芝生は緑と教えます。でも、日々見ているといろんな色の空があり、草にもいろんな色がある。なのに、まずはみなと同じ色であるように、正解を正しく描くようにと教え、自分で考えることを教えてくれない。クリエイティブがない。若い頃は素敵なイマジネーションがあるのに!自由に描く力を損なうような教育に疑問を覚えて自分たちでやってみたくて思いました。

春は新しいことを始めたくくなりますね。習い事は子どもにとって大切な居場所の一つ。魅力的な先生が主宰する習い事教室に聞いてみました。

子どもの「生き抜く力」を育む習い事って?

教室で気づいた子どもの変化を教えてください

アンイー たくさんあります。例えば、マイペースでこだわるタイプの子が月に4回の教室の中では完成できなかった作品を持ち帰り、じっくり吟味して完成させました。言われたからではなくて、ひらめきが湧いてお手本以上のものを作成して、私たちの想像を超えました。教室で電流が通ると電気がつくことを「発見」した子がそれを生かしてもっとすごい作品を作ったり、教室で作った歩くロボットと一緒に散歩に行った子もいました。作った作品を誇らしく思ってくれていると思います。自分に自信がないという子も少なくないので、一つ一つの作品を完成させることが自信につながるという思いながらやっています。



西沢 私の教室では、子どもの言うことを絶対否定しません。子ども同士も誰かを否定することはしないように言っています。学校では外れたことを言うと変な目で見られると思いますが、ここではハズレを言ってもいい、正解じゃないことでも発言していいことにしています。すると、子どもたちは間違えることを恐れなくなります。おかげでおかしいことを言う人が偉いという空気があるくらい。いい意味で好き勝手ができて、ちゃんと自分の意見が言える。そんな子どもたちのことを私は誇らしく思う。学校との基準とは違うところに価値があると子どもたちにも伝わっていると思います。



● 理科クラブ

小学生を対象に、理科に関するプログラムを行う。8月以外の毎月、年間11回プログラムを開催。2年で1クールと考え、クラスごとに22プログラムを用意。

- 場所: 大倉山(港北区)やセンター北(都筑区)など
- 料金: 入会金11,000円 / 低学年(1回75分)年間54,450円(税込) / 中学年・高学年(1回90分)年間67,760円(税込)
- HP: <https://rikaclub.jp/>



● アンイースタジオ Art n' English Studio

- 場所: 中区石川町
- 料金: 子ども対象のクラス ベーシックアート&イングリッシュ(3~7歳) 12,000円/月
アート&イングリッシュ(6~12歳) 12,000円/月
チビロニクス(サイエンス)(6~12歳) 13,500円/月

英語クラス~初・中級と上級の2クラスあり 12,000円/月
 ※1時間月4回。年齢はおすすめ年齢。材料費込み。入会金別途5,500円
 体験クラス3,300円

■ HP: <https://www.art-n-english.com/>

